

01 NEWS 廃棄ビニール・プラスチック回収

12月10日、農業用廃棄ビニール、廃プラスチックの回収を行い、管内の農家13戸から計138袋を受け付けました。廃棄ビニールやプラスチックを20袋以上持ち込む農家もいました。

経済店舗で50ℓの回収専用袋を1袋30円で販売し、回収の際に組合員が1袋につき1100円を支払いJAが回収しています。

JAは農作業で発生するごみの削減と適正処理を推進しており、地域農業の環境負荷を減らすため、今後も継続して取り組みます。



廃棄ビニールを受取る職員(右)

12 つくる責任 つかう責任

02 NEWS スイーツキャベツ糖度10.8度

青壮年部は12月26日、本店で都西多摩農業改良普及センターの指導員と「スイーツキャベツ」の販売に向けた糖度検査を行いました。

スイーツキャベツは東京都が認証するブランドで、年内の糖度8.5以上、1月以降の糖度9以上で、形や色が良いことが条件です。この日は2人の部員がキャベツを持ち込み、全て糖度8.5以上を計測しスイーツキャベツとして出荷基準をクリアしました。最高値は部員の森一浩さんが納品した「彩音」でBrix濃度糖



スイーツキャベツと森さん

12 つくる責任 つかう責任

03 NEWS 地域の安寧を願う正月飾り

東秋留支店は12月30日、同地区の組合員が営む花店で購入したお正月のしめ飾りを玄関に飾りました。毎年、その年の最終営業日に入口に飾っています。今年も店舗全体の窓拭きなど大掃除を行った後、飾りつけました。

しめ飾りには、ウラジロ、ダイダイ、ユズリハなどが使われており、ウラジロには裏まで白い心の潔白、ダイダイは代々の繁栄、ユズリハは順調な世代交代の意味が込められています。



正月飾りを取り付けた職員ら

11 住み続けられるまちづくりを

04 NEWS 女性部支部長・班長研修会開催

女性部は1月15日、支部長・班長研修会を開催しました。女性部員・JA職員合わせて約60人が参加し、認知症予防と防災をテーマに2部構成で研修しました。

第1部では、MCI(軽度認知症)について講演を聞きました。第2部では、家の光協会発行の「家の光」12月号を活用した防災料理講習会を行いました。耐熱性のポリ袋に食材を入れ、湯煎で調理する方法を実践し、災害時にはポリ袋のまま器に盛り付けることで食器を汚さずに食事ができることなどを学びました。



防災料理に挑戦する部員

13 気候変動に具体的な対策を

05 NEWS 廃棄農薬回収

1月20日、管内3力所の経済センターで登録失効・有効期限切れ農薬や農薬の空容器などを回収しました。管内の農家26戸から廃農薬と容器合わせて216.3kgが集まり、専門業者へ引き渡しました。多い方で40kg以上の持ち込みがありました。

JAでは不要農薬などの管理や削減のために年1回、回収しています。今後も農薬の販売業者として、適正使用だけでなく、適正な処分にも対応していきます。



回収した農薬を仕分けする職員

12 つくる責任 つかう責任

06 NEWS 業種別・機能別部会代表者会議開催

1月22日、本店で業種別・機能別部会代表者会議を開きました。生産者部会をはじめとする全9部会が集まり、令和7年度の活動報告を行い、各部会活動の理解と発展について確認し合いました。

谷澤俊明組合長は、令和7年度から9年度に実施する新たな自己改革の取り組みについて説明しました。



代表者会議会場

17 パートナーシップで目標を達成しよう

07 NEWS

東京メンマ TOKYO HINODE

8 働きがいも 経済成長も



日の出町農業担い手の会（ライジング・サンズ）は1月30日、2月1日の「メンマの日」に合わせ、同会が製造したメンマ「東京メンマTOKYO HINODE」の商品発表会を開きました。

日の出町内では竹林を管理する農家の減少や高齢化により放棄竹林化が進み、農作物への獣害被害の温床となっていました。こうした地域課題の解決に向け、竹林整備を実施する中で、タケノコとして出荷できない長さ2mの幼竹を活用し、メンマとして商品化しました。

原料となる竹は、昨年5月に町内5カ所の竹林で切り出した幼竹約30kgを使用し、加工は町内の加工施設「肝要の里」で行いました。

約3年間の試行錯誤と20種類以上の試食を経てメンマを完成させました。令和8年産のメンマは6月頃よりJAの直売所等で販売します。

会長の門馬睦さんは「ゼロからスタートし、ようやく商品化できた。販売先の確保や賞味期限が短いなど課題もあるが、味には自信がある。まずは多くの人に食べてほしい」と話しました。



商品化したメンマを発表する会員

08 NEWS

ジャガイモ栽培講習会 開催

12 つくら責任 つかう責任



営農部会は2月9日、ジャガイモ栽培講習会を、檜原村役場内で開き、村内農家21人が参加しました。講習会では、都西多摩農業改良普及センターの岡村亮氏が講師を務め、ジャガイモの病害虫防除や土壌消毒の方法、品種比較結果について説明しました。

檜原村では特産品種「おいねのつるいも」の系統を守りながら、栽培を続けています。

普及センターは、そうか病対策として輪作の重要性を強調し、同一ほ場での連作を避けることが発生抑制につながると指導しました。



講習を聞く参加者

09 NEWS

スイートコーン研修会 開催

12 つくら責任 つかう責任



スイートコーン部会は2月12日、スイートコーンの栽培技術向上を目的とした研修会を開きました。当日は52人の部会員が参加し、都西多摩農業改良普及センター職員のほか、カネコ種苗東京支店の担当者が講師を務め、生産者らに向けて栽培管理の基礎技術について説明しました。

講習では、膝高期（葉数6〜7枚）の管理が重要で、幼穂形成に水分が必要な時期であり、土壌の乾燥と追肥の遅れに注意するよう伝えられました。土壌水分の保持や雑草抑制には、畝間に収穫を目的とした小麦などの植物を一緒に育てて地表を覆う「リビングマルチ」の活用が提案されました。



講習を聞く参加者

10 NEWS

かあちゃん研修 開催

4 質の高い教育を みんなに



直売所運営委員会は2月16日、「かあちゃん研修会」を開きました。この研修会は日頃から袋詰めやラベル貼りなど出荷作業を担う女性会員らに向け、先進的な直売所の取り組みを学ぶ機会を提供するものです。今年は20人が参加し、神奈川県JAよこすか葉山が運営する農畜産物直売所「すかなごっそ」と、道の駅「湘南ちがさき」を訪れました。

参加者は、「包装や陳列の仕方ひとつで商品の魅力が大きく変わる」「自分の出荷品にも取り入れたい」と話し、それぞれが自らの商品や直売所運営に生かせるヒントを持ち帰りました。



直売所を視察する参加者

11 NEWS

暑熱対策資材検討会 開催

12 つくら責任 つかう責任



営農部会は2月18日、暑熱対策資材検討会を開きました。部会員と地域の農業者25人が参加しました。全農が講師となり、夏の高湿対策に活用できる資材について説明しました。

参加者は暑さ対策に抜本的な解決策はなく、遮光・遮熱シートや循環扇、ミスト、土壌改良資材を組み合わせて対策することを学びました。

会場では、暑さから身体を守る冷却服の展示や試着も実施し、参加者から好評でした。



講習を聞く参加者

12 NEWS

青壮年部人間ドック受診

青壮年部は2月18日、JA東京厚生連の人間ドックを団体受診しました。部員の健康維持と健康管理意識の向上を目的に実施しています。今回は新規2人、継続4人の計6人が受診しました。受診料の一部はJA共済の地域貢献活動より助成しています。



13 NEWS

防火女性の会視察研修会

女性部は2月18日、秋川防火女性の会主催の視察研修に参加しました。防災体験施設「そなエリア東京」を訪れ、災害時の備えや自助について知識を深めました。また、東京直下72h TOURでは、クイズ形式で地震発生後72時間の生存力をつける体験学習を行いました。



人間ドックを受診する部員ら



防災体験をする部員

中途採用職員

1月より新しい仲間が加わりました！
よろしくお願ひいたします。

たかぎ はな
高木 花菜



所属先：五日市支店 貯金担当
趣味：映画鑑賞、ライブ参戦
抱負：笑顔を忘れず、地域の皆様に信頼される職員を目指します

令和7年度 定年退職者

3月末日をもちまして、1名の職員が定年退職となりました。長年、組合員・地域の皆さま方にご指導いただき、誠にありがとうございました。（役職は1月末時点）

おかの たけし
岡野 剛



日の出支店 支店長
昭和62年 多西農協入組
在職 39年

令和8年度新入職員

フレッシュな仲間が加わりました！
よろしくお願ひいたします。



かなつ あれん
金津 亜蓮

■所属先：東秋留支店
■趣味：スポーツ観戦
■抱負：地域に根ざし、組合員の方の暮らしと農業発展に貢献します。



せきぐち うたな
関口 詩七

■所属先：増戸支店
■趣味：ピアノ、映画鑑賞、読書
■抱負：人との繋がりを大切に、皆様に信頼される社会人を目指します。



たにぐち こうき
谷口 航輝

■所属先：日の出支店
■趣味：釣り
■抱負：互いに信頼し合える、地域の皆様に寄り添える職員になります。

人事異動のお知らせ

令和8年2月1日付で次のとおり着任しました。今後ともよろしくお願いたします。

新			旧		
店舗名	職員名	役職名	店舗名	役職名	
本部	総務企画課	岡部 洋一	人事係長	本店	融資担当主査
	リスク管理課	村野 光伸	課長	管理課	課長
	融資課	岡部 浩政	課長	多西支店	支店長
	管理課	市川 和夫	課長	本店	本店長
	管理課	工藤 まゆ子	経済係長	総務企画課	人事係長
	地域振興課	内倉 浩支	課長	秋川ファーマーズセンター・ 経済センターマイム	センター長
	地域振興課	田中 正明	地域振興担当主査	秋川ファーマーズセンター・ 経済センターマイム	副センター長
	総合相談課	山下 哲央	課長代理	日の出支店	副支店長
本店		沖倉 伸	本店長	推進課	推進課長兼住宅 ローンセンター長
		上島 清香	共済係長	五日市支店	共済係長
多西支店		遠藤 弘之	支店長	東秋留支店	支店長
		久保 未春	融資係長	五日市支店	融資係長
東秋留支店		平瀬 洋輔	支店長	東秋留支店	副支店長
		久下 照美	副支店長	東秋留支店	融資係長
		小峰 一樹	推進係長	日の出支店	推進係長
日の出支店		大久保 豪志	支店長	五日市支店	副支店長
		内藤 智美	副支店長	五日市支店	貯金係長
増戸支店		岡野 剛	共済担当考査役	日の出支店	支店長
五日市支店		高橋 史江	副支店長	本店	共済係長
		小山 友美	貯金係長	東秋留支店	貯金係長
秋川ファーマーズ センター 経済センターマイム		清水 聡	センター長	地域振興課	課長
		立石 絵美子	副センター長	管理課	経済係長
		高水 亮二	センター係長	地域振興課	地域振興係長
日の出経済センター		浜野 孝幸	センター担当 調査役	エネルギー(株)	燃料担当 調査役
エネルギー(株)		森屋 真	副支配人	秋川ファーマーズセンター・ 経済センターマイム	センター係長
		城市 宗哉	燃料担当主査	秋川ファーマーズセンター・ 経済センターマイム	センター 担当主査

※紙面の都合上、主査以上の異動者を掲載しています。